



星名日記

2488



114
A 3877



信^上 勅富岡へノ旅記

我先般米國公使ニ依頼シ通行免状ヲ受ケ横濱
 ヲリ信^上 勅富岡ニ旅行シ同所ニ四日ヲ費シ其近
 傍ヲ探索シタリ故ニ諸國ヲ旅見シタル人斯様
 ナル旅行ヲ見或ハ聞テ知ル所ノ者ハ隨分肝要
 ナルモノト成ラント思慮シタレハ我ハ其ノ知
 見ノ不充分ナルハ不疑ト雖モ今此ニ記載ス
 我ハ中仙道ヲ通行セレニ其近傍ハ豊フル且ツ
 人目ヲ付ケベキ処ニシテ閑ワレキ市村屢々道

大
隈
正
一
十
一
年
四
月

信
上
勅
富
岡
へ
ノ
旅
記

側ニ在リ旅人モ多ク通行シ或ハ商賣品ヲ荷メ
ル人ヲ見ルハ其近傍ハ土産ノ多キ證ナラン
富岡近傍ノ重ナル土産ハ生糸、烟草、麻、及ヒ茶ナ
リ又東京ニ近寄テハ米、綿、及ヒ麥ナリ其ノ氣候
地味ハ稀妙ニ耕作ニ適當シ同シ地質ノ所ニテ
斯ノ如キ高貴ナル物産ノ數種類ヲ生スル処ハ
世界中ニテ甚タ稀レナルベシ斯様ナル有様ヲ
以テハ何人モ富貴閑化ノ人ヲ得最巧ナル耕作
ヲ得シト望ムナルニ其ノ土地ニ於テハ其模様
左無キカ如シ其ノ土地ノ人民ハ親切念懇正直

ニシテ世界中何レニテモ旅人ノ斯ノ如キ懇親
ニ逢ヒ故障ヲ受ケザルヲ稀ナリ我ハ其等ノ
人氏ノ快口ヨキ行状ヲ好愛シタレハ彼等ノ活
計上ニ於テ遙カ勝レタル模様ヲ見出サハ喜フ
所ナリ然ルニ我ハ是ノ事ニ於テハ大ニ失望セ
リ
彼等ノ住所ハ殆ンド其土地ノ規則ノ如ク不愉
快ニシテ快ヨカラザル処ニ在リ其建築ニ至テ
ハ實ニ貧ナルハ則テ其土地ノ人民ハ貧窮或ハ
愚ナルヲヲ顯ス證ナリ

生糸ノ紡キ方サヘモ實ニ蘇粗ナル法方ヲ以シ
明精ナル品ヲ得ルヲアルハ實ニ驚クヘキナ
ラシ程塵汚混雜ノ中ニテ成サレナリ又其ノ
他ノ產物トテモ多クハ市場ニ出シ賣捌カント
スル品ナルニ格別ニ念モ入レズ其ノ上損害ヲ
避ケン為メニ其ノ品物ヲ貯フル庫屋ノ良キ者
稀ナリ是等ノ譯ヲ以テ農夫ハ其ノ産スル者ヲ
直賣ニセスンハアラズ而シテ其ノ法其土地ノ
人民ノ風習トナリシテ明了ナリ之レ則テ相庭
師ヲ惠ムノ法ナリ

煙草ハ村々ニ生シ原來良キ品柄ノ者ト見ユ然
レドモ其ヲ干カス法方ハ實ニ蘇粗ニシテ斯ノ
如キ濕氣アリ且ツ交リ易キ氣候ニ於テハ直打
アル品ヲ得ルヲ難カラシ
日本煙草ヲ外國ニ輸出スル時ハ品柄ニ大ニ損
害ヲ引起スハ多分右ニ述フル以謂ニ基フリナ
ラン
麻是ノ直打アル品物ヲ産スルハ甚々容易ニシ
テ何レノ所ニモ生ズルヲ見ヘタリ是ノ麻ノ
木ハ何クモ繁茂シテ生シ大概ノ農夫ハ何程カ

其ノ木ヲ耕作ス而シテ生長ノ後其ノ皮ヲ剥キ
水ニ漬シ大ニ勞シテ實ニ清淨ノ麻ヲ生ス然レ
トモ其ノ麻ハ代價ノ高直ナルヲ以テ船綱或ハ
其他普通ノ使通ニハ適當セザルナリ我聞クニ
其麻ハ繩ニ使フ由ラレバ其ノ繩ハ是非トモ高
價ト成ラサルヲ得ズ其上其レヨリ麤粗ナル麻
ニテ作ルヨリモ実験上ニ於テ良カラザルヲ必
然ナリ又則ノ如キ法ヲ以テハ織物ノ為メニ大
量ヲ用ユルヲ不能ナリ
若シ是ノ麻ヲヨロツバニ於テ成ス如ク取扱

ヒ少シ劣リタル麻ヲ得能フナレハ其代價ハ大
ニ減少シ且ツ輸出スル為メニ大ニ消却スルナ
ラン又其生産ノ分量モ増加シ而シテ農夫ハ多
分頭今ヨリモ上等ノ利益ヲ得ルナラン
綿ハ諸処ニ繁生シ品柄ハ良キ者ト見ユ而シテ
出来上リテ後ハ清淨潔白ナル者タルヲ明了ナ
リ然レトモ之レ亦小仕掛ニテ諸事人ノ手ヲ以
テ成サル、故無益ノ勞ヲ費シ終ニハ相当ナル
直段ヨリモ格別高直ニ至ルナリ
茶ハ大概田畝ノ傍側ニ植シ稀レニハ小キ茶園

ヲ見ルコトアリ其茶葉ハ大抵重ニ其近傍ニテ用
ユル処ナラン蓋シ輸出スル為メニ用意スル法
方見ヘガレハナリ

生糸是ノ高貴ナル物産ニ付テハ我輩等ノ評説
ヲ入ルニ及ハガル所ナリ則チ

富岡ハ政府ニ於テ建築アリタル廣大立波ナ
ル蒸氣ヲ用ユル生糸製造場アリテ是ノ高貴ナ
ル物品ノ品柄ヲ改正セントスル企望判然ナリ

是ノ製造場ノ順序精密ナルコトハ農夫等ノ麁粗
ナル卷方トハ其模様ノ區別實ニ著明ナリ

我富岡ニ於テ聞クニ是ノ蒸氣ヲ用ユル生糸製
造場ハ政府ニ利益ヲキ田レ然レドモ迨ニ其ノ
探索ヲ成シ知り得ル処ハ則チ其損失ハ或ル理
ニ基キ其レヲ省キ能フコトモ出来ラント知
覚セリ

葡萄酒ノコト是ノ土地ノ小山ハ葡萄ヲ繁植セレ
ハルニ極ク適當ナルニ近邊ニ葡萄園ノ
無キコトハ實ニ驚クヘキ処ナリ原米火山質ノア
ル地味ハ是ノコトヲ為ス極ク適宜ナル者ニシテ
コヨーロツパニ於テハ斯ノ如キ地ヲ用ユルナリ

然レドモ日本ニ於テハ葡萄ヲ耕作スルノ法ハ
知ラレズ米穀ヲ以テ作りタル下質ノ酒ヲ好ム
故其レカ為メ多クノ米穀ヲ費スルニシテ其ノ
酒ヨリ余程健康ニ良キ且ツ酩酊スルニ少ナキ
葡萄酒ヲ用ユルナシ
葡萄ノ實ヲ以テ其ノ酒ヲ作り能ク國ニ於テハ
葡萄園ヲ耕スハ廣大ノ利益アル者ナリ既ニ佛
蘭西國ニハ其ノ葡萄園ハ富貴ナル源由ノ一大
物ナリ又日本ニ於テモ葡萄園アレバ同様ニナ
ルヲ容易ナリ

地ノ耕作ハ至ラサル所ナク農夫ノ勉強スル風
習ハ則チ其ノ田畝ノ程良ク于キ且ツ奇麗ナル
ヲ以テ明了ナル処ナリ
然レドモ秋冬ノ植付ノ為メニ其エ地ヲ穿ツハ
二三寸掘リ下ケ上皮ヲ穿ツ已ニテ其ノ下ニハ
全ク能ラサル地ヲ残スハ農夫ノ用ユル機械ノ
鹿粗ナルヲ且ツ此ノ為メニ用ユル牛馬ノ少
キヲニテ概畧是ノ次第ヲ明解ス而シテ是迄ヨ
リ遙カ深クウガタハ其收納ノ高ハ定メテ増加
スルヲラン

我評記セシ処ハ則テ其地ニ天然ノ繁茂ヲ顯シ
物産ノ多キ故或ル種物ヲ心苦シテ耕スベキ処
ナリ然ルニ其等ハ都テ不充分ニシテ且ツ其ノ
土地ノ人民ハ事カク發起スルノ心望ナシ故ニ
今或ル法ヲ以テ憤勵セシムルノ肝要ナルハ明
白ナリ欧米ニ於テ右ノ如キ天恵アレハ其ノ土
地ノ人民ハ誇ルベキ繁榮ヲ起シ家屋衣類道路
等清潔ニ成シ良キ健康ヲ得ントシテ大ニ活勞
ヲ起セシナラシ然レドモ此ノ國ニ於テハ人民
ハ貧ニシテ且ツ虚弱ノ如シ只其人民ノ富貴ナ

ラント思ハルハ子孫已ニテ各村各家徒好ナ
ル小童許多アリ撫育ノ心勞ヲ受ケズ且ツ過キ
行ク処ノ生道ハ更ニ不知シテ幸福ノ如シ
斯ノ如ク萬物ニ天然ノ倖僥アル処ニシテ人民
ノ斯ク貧窮ナル源由ヲ考フルニ其ノ人民ハ自
村外ノ一ヲ知ラサルニ歸シ其レニ續テ道路ノ
不便ヨリ起ル者亦ハ決定スルナリ其ノ智識
ヲ廣ムル一ハ大ニ憤勵アルハ各村ニ官立学校
アリ各市ニ許多ノ学校アリ各生徒ノ充分ナル
ヲ以テ明白ナリ而シテ是ノ設ケアルハ實ニ喜

警スヘキトニシテ今ノ子孫等ハ後世ニハ其ノ
親父ノ充分セシ処ハ不充分トシ生道ノ上等ニ
位スルノ法ヲ勉メテ求メントシ我ヲシテ前見
セシハルナリ亦道路ヲ改正セントスル起業ア
リ中山道ハ通例程良キ廣サノ大ナル還道ニシ
テ諸河ニ修復ヲ加ヘラレタレトモ今ノ模様ニ
アラガレハ却テ便利ナラ格蘭尚道路ノ修復
ハ半分出来レ新規ニ小石ヲ入レ回々タル地ハ
干乾シタレ虽其石ハ凡石ナレハ自ツカラ地中
ニ落着セバ往来ノ車人力車押車等ノ輪ニテ具

石ヲ側退シ修復後暫時立ツ時ハ又直ニ原ノ惡
キ模様ト成ナリ故ニ斯ノ如キ模様ニテハ廣大
ノ入費ヲ掛ケテ不絶修復ヲ加ヘサル時ハ何ノ
甲斐モ無キヲ明了ナリ然レハ最初ニ割石ヲ以
テ道路ヲ良ク修復セハ終末ニ至テハ却テ安直
ニ上ルナラン尚良キ道ノ処ニ於テスラ運輸ノ
法方ハ實ニ見ルニ足ヒサル処アリ則テ産物ハ
馬ノ背或ハ押車ヲ以テ運送シテハ口取ノ別当
アリ押車ハ二人ノ人夫ヲ要シテ通例米三俵ヲ
荷フ而シテ是荷物ヲ以テ一時間ニ九一里ヲ運

行ス則テ長日ノ一日ヲ以テ十里ヲ行キ其ノ賃
 錢ハ凡ソ五十錢ナリ則テ米一石ヲ百里運シト
 スル運賃ハ凡ソ五回ナリ其ノ一週間ノ余日
 ヲ要スルナラシク家屋建築ニ用フル石ノ類或
 ハ田畝ノ肥等モ同様ニ入費スルナリ
 是ノ有様ハ則テ農夫ノ貧窮且ツ不開化ヲ明解
 スル処ニシテ是ノ如キ遲延ナル且ツ出費多キ
 運輸ノ法ヲ以テハ廣大ノ作ヲ誰アツテ生
 トスルヤ或ハ遠路ヨリ極ク所要ナル品ニアラ
 カレバ持来ラント欲スルヤ斯ノ如キ有様ニテ

ハ誰モ發起心ヲ生ゼザル故其人民ノ不繁昌不
 開化ハ驚クニ至ラサル処ナリ
 其ノ土地ノ生糸及ヒ其ノ他尋常ノ物ヨリ直打
 アル産物ニ付キ其人民ハ村外ノ人トノ商業ハ
 殆ント無キ者ト同様ニシテ只其商業ハ内々ニ
 テ成ス已ニ又若シ米或ハ綿或ハ烟草ヲ遠路ノ
 処ニ持テ行キ賣ルニシテ或ハ他ヨリ其ノ住屋
 或ハ田畝ノ為メニ要用ナル物ヲ持テ来ラント
 セハ其入費思フシク重大ナルト必然ナリ故ニ
 今安直ナル運輸ノ法ヲ設クルハ其人民ノ為メ

ニハ良キ学校ノ設ケアルヨリモ大ナル惠ナラ
ガラン何ントナレハ自然人民ヲシテ勉勵セシ
ムルニ至リ且ツ願望ノ心ヲ抱クシメ然ル後ハ
自ラ自分ニ教育ニボムルニ至ルナリ而シテ皆
其土地ヲ精々産物ヲ生セシメントシ終ニハ快
清ヲ以テ顕今ノ不快不潔ヲ除クナラン依テ今
此ニ其安直ナル運輸ノ法ヲ設クルヲ述ントス
然レトモ我カ旅行ノ知見ヲ以テ考フルニ瀛車
ノ鐵路ヲ設ケテ運輸スルハ現今存在スル商業
ニ對シテハ余リ大價ト成リ而シテ瀛車ヲ設ケ

テ利ヲ得ルニ至ルハ忍ラクハ長久ヲ費スナラ
ン尚今ニ存在スル商業ニハ格別ノ駿速ナルコ
ハ未メ要セサル処ニシテ今其ノ土地ノ人民ハ
程良キ速カノ運輸ノ法ヲ設クレハ満足スル所
ナリ然レトモ其ノ土地ハ瀛車鐵路ヲ設クル適
当ノ所ナリ

東京ヨリ高崎ノ間ハ機械ヲ扱フニ六ヶ敷所無
ク只両三ノ短橋ヲ作ルノミ而シテ利根川ハ現
今ノ如ク小船ニテ通行セシムベシ又其ノ土地
モ今ハ安價ナラント思ハル、故瀛車鐵路ヲ作

ルニモ格別ノ入費ハ掛ルミ故ニ余考フルニ
 今單一ナル鉄路線ヲ作ルノ肝要ナラン而シテ
 其鉄路ノ上ニ輕キ荷車ヲ運送セシムル時ハ其
 ノ入費モ安直ニ出来シ且ツ其等ノ品ハ日本ニ
 テ容易ニ出来シ得ルナリ然ル時ハ今背ニテ荷
 物ヲ運ブ馬ヲシテ其ノ車ヲ拽カシメナハ其ノ
 線路ニハ外國人ヲ用エルニ不及尚兩馬ヲ以テ
 是ノ車ヲ曳カシムル時ハ今ニ馬ノ脊或ハ押車
 ニテ十時間ニ行ク里數ノ十倍モ五時間ニ行キ
 得ルナリ而シテ処々ニ替馬ヲ置キ車ヲ拽カシ

ハル時ハ東京ヨリ高崎ハ一日ヲ經スレテ達
 シ得ルナラン

余考フルニ斯ノ如キ道路ヲ造立スルハ割合ニ
 費用少ナク安直ニ行業シ大ニ荷物運輸ノ便宜
 ヲ増シ旅客ヲ増シテ廣大ノ利益アル商業ト思
 ハルハナリ

然ル時ハ其近傍ノ土地ハ直ニ直價ヲ増シ而シ
 テ農夫ノ產物並ニ仕事ノ法ヲ直打アル驗效ヲ
 顯シ速カニ其便利ヲ登見スルナラン

今斯ノ如キ道路ヲ作ルニ余リ速カニシテ時ノ

至ラサルナレハ車ノ容易ク運轉シ能フ様尋常
ノ固キ良キ道ヲ作ルヲ要用ナラン何ントナレ
ハ一馬一車ヲ扱テ斯ノ如キ道ナレハ其ノ背ニ
テ運ヒ能知ノ少クトモ四五倍ヲ扱キ得ル已ナ
ラス安價ニシテ且ツ速カナリ
我旅行ハ二人扱ノ人カ車ヲ以テ一時間ニ凡ソ
二里ヲ行キタリ是ノ法ハ昔シ日本ニテ流行セ
シ者ヨリモ大ニ高便ナレドモ道路ノ凹凸アリ
或ハ雨天ニテ柔カニ成リタル時ハ實ニ愉快ノ
運具ニアラザルナリ

是ノ人カ車ニ故障アル重ナル処ハ則テ國中ノ
最モ強壯ナル人ノ健康風習ヲ害スルヲ不ツト
ス其人夫ノ二日ト續ヒテ是ノ仕事ヲ行フ者ハ
實ニ稀ナル程骨折ラザルヲ得ス而シテ其ノ人
夫ハ休暇ノ間ヲ無益ニ費シ其ノ得ル金ヲ無法
ニ散乱シ其終ニハ衰弱ニシテ不適當ノ者ト成
ルナリ
我聞クニ是ノ仕事ヲ長久續クル者無レト云フ
之レ全ク暫時ノ者ニシテ速カニ人ヲ勞ラシ通
例ノ職業ニサヘ不適ニ成ス仕事ノ一種ナリ而

レテ是ノ法ハ旅人ノ為メニハ大ニ便利ト雖モ
是ノ国ノ為メニ斯ク流行スルハ實ニ不幸ナル
者ナリ何人ニテモ日本國ノ為筋ヲ思フ人ハ斯
ノ如キ害アル旅行ノ法ヲ除ケ成丈ケ害無キ法
ヲ設ケテ國中ノ強壯ナル人ヲ遙カ秀レタル貴
重ノ才ニ用ヒントレテ備ヘラレシムヲ望ミ子
バ成ラザル処ナリ

於横濱

千八百七十四年

トリス、ウオルス

第十一月

謹言輝

